

ね
ね
ちゅ
ちゅ

DOJIN

R18

成年向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止





目次

ねねっちょこ第1話	04
ねねっちょこ第2話	09
ねねっちょこ第3話	13
ねねっちょこ第4話	17
ねねっちょこ第5話	21
ゲスト漫画	
御乱ノ栖本佐様	25
ゲスト絵 つつつ様	29
ゲスト絵・小説	
小林おかし様	30
ゲスト漫画 牛鬼様	34
ゲスト絵 みさな様	36
あとがき	37



ねねっっこ 第1話



ばーん

え〜〜〜!!

全部
空いてないー!!

うう〜:
まだですか〜?

はあ

誰か代わってえ〜…

はあ

はあ

その声は
桜さんですか?

うみこさん!

うみこさん
ずるい!!
席外すなって
言っておいて
自分だけトイレ
行ってらっしゃい!!

モウッ

きい

きい

は?
トイレに行くなど
言っただ覚えは
ありませんか?





あ…
あああ…

ここは…
うみ…
早く…
出て…
くれ…
な…
か…
つ…
た…
か…
ら…
だ…
し…

急に開けたらあぶな…

っう…

じょろろ

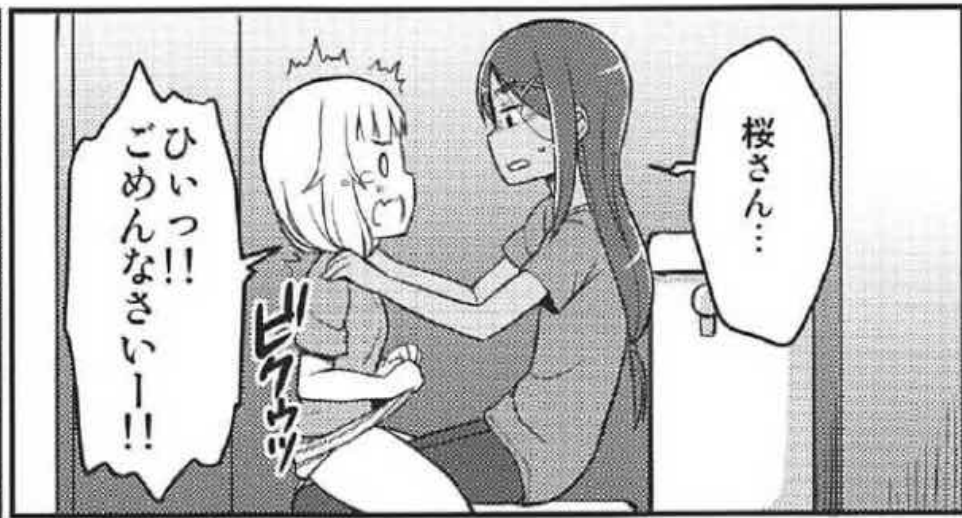
ホッ

ホッ



…ッ!!

ひびく!!



ひいっ!!
ごめんなさいー!!

桜さん…

ヒクヒク

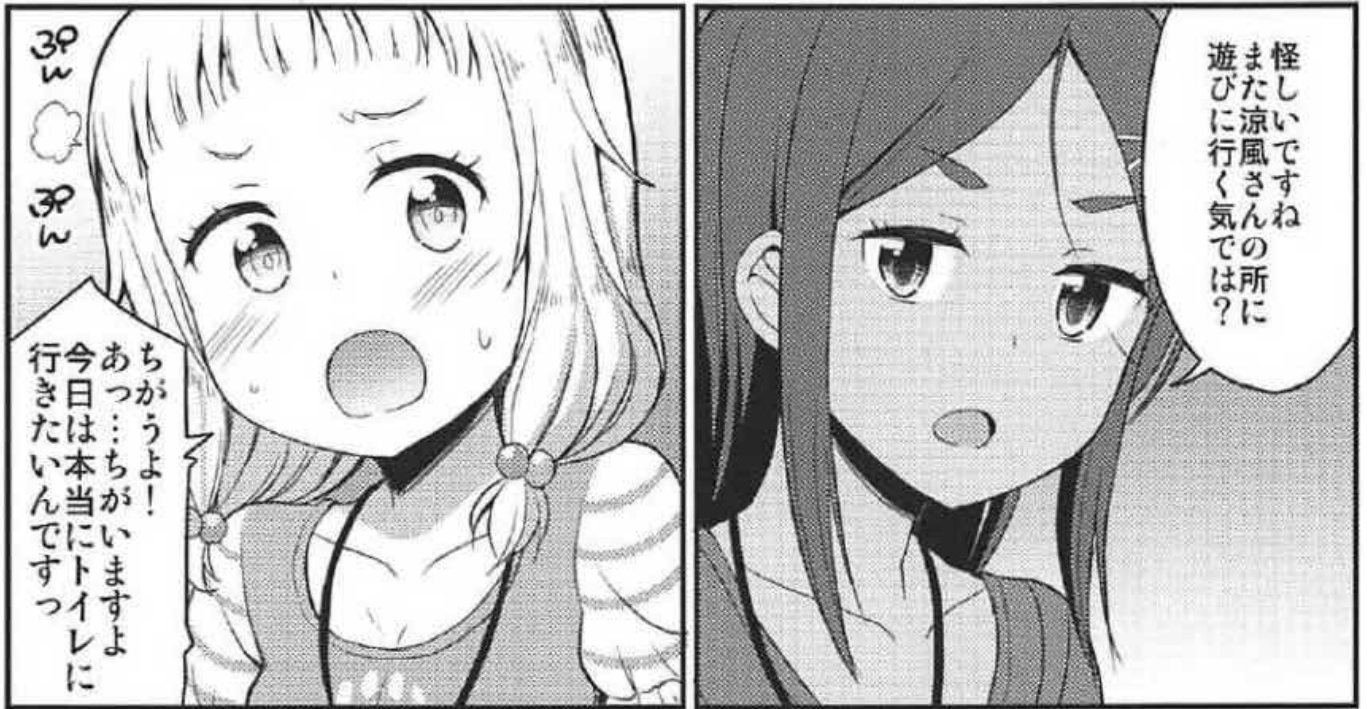
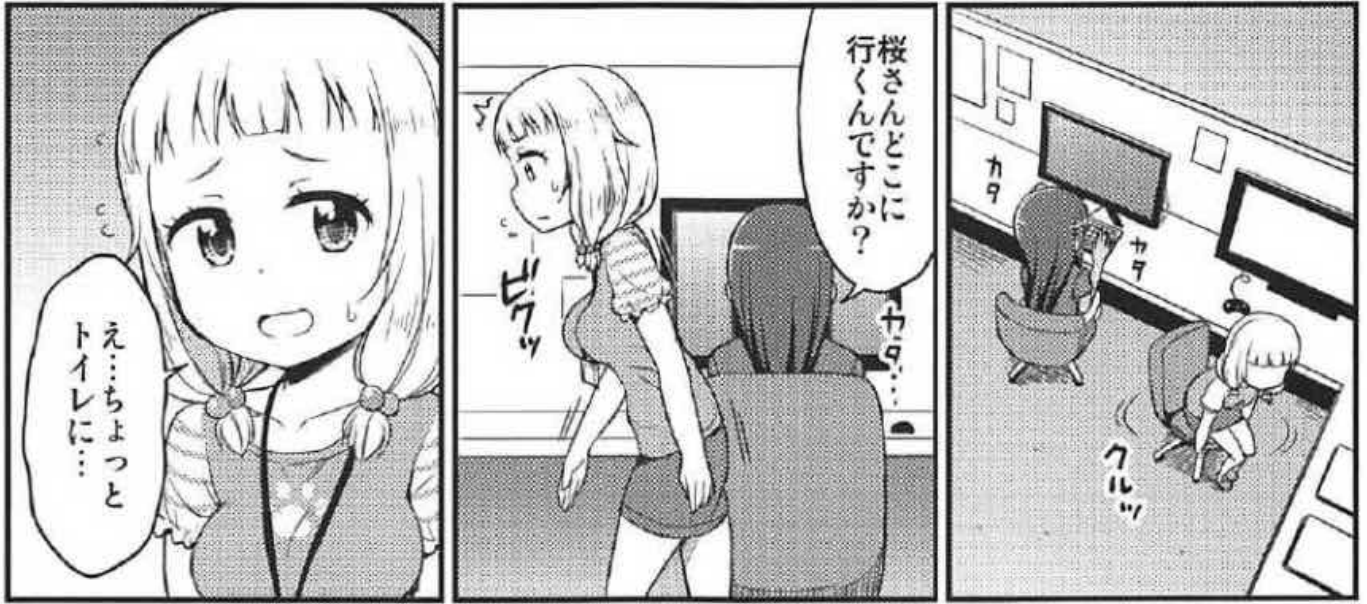


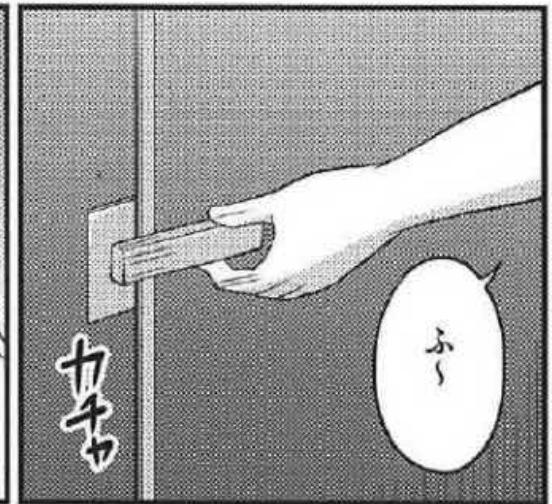
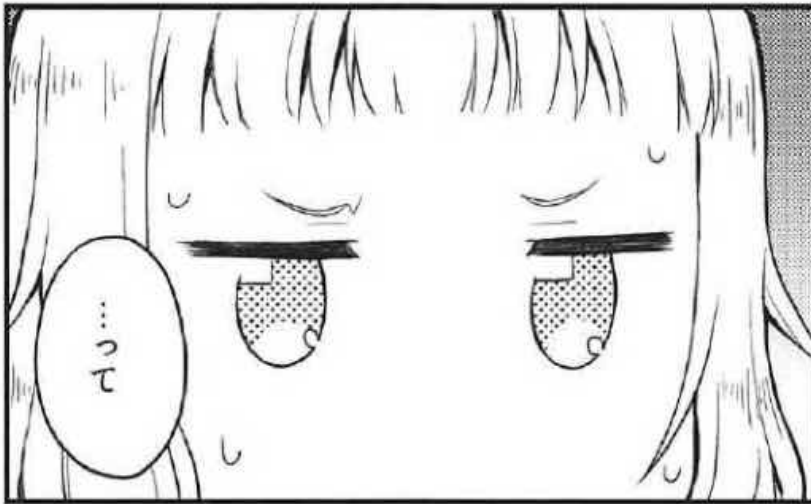
あ…

びしょ

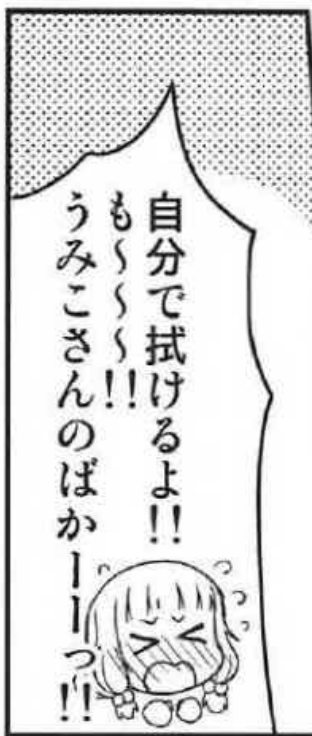


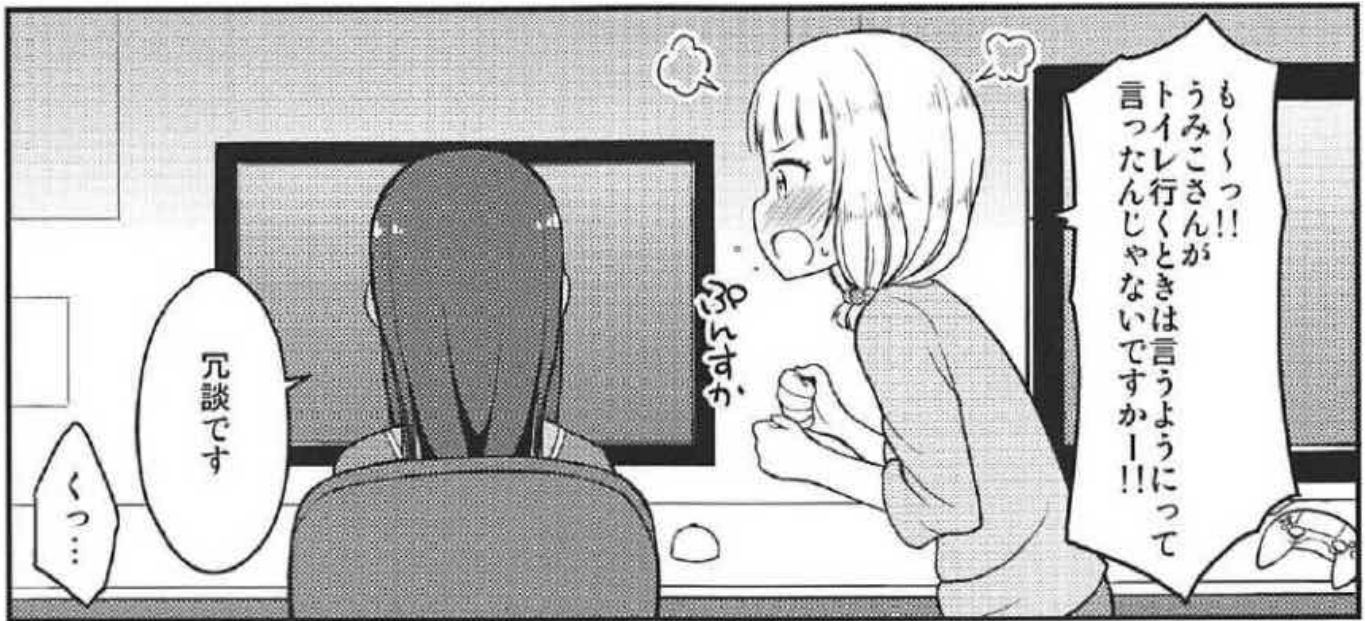
折本発行時奥付だったスペース















へえ
今日も可愛いらしい
ショーツですね

うみこさん
そんなことはいいですから…
早く…誰か来ちゃう…

あんなに汚ってたくせに
自分勝手な人ですね

はい
していただきますわ

グッ



んっ…!

すずる



うう…
なんでまたうみこさんの前
おしっこすることに
なってるんだらう私…



すごい勢いですね
それに色が濃いですよ
エナジードリンクの
飲みすぎじゃないですか？

感想は
いりませんって!!

こんなに大きな音たてたら
隣のブースに
聞こえてしまいますよ？

えっ!どうしよう!?
音しないように弱めなきゃ!

ああつ!だめっ!
止まらないよおっく!!

しよぽ

しよぽ
しよぽ

しよぽ

しよぽ

しよぽ

しよぽ



じゃあ仕事に
戻りましょう

冷房が強かったので
丁度いいです

湯たんぽにしちやだめー!!
捨ててきてくださいー!!



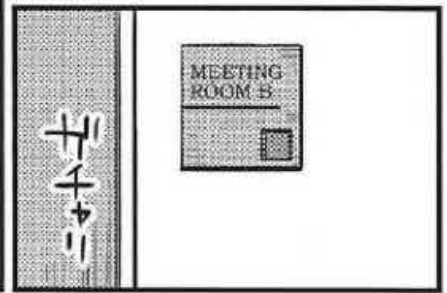
ふふっ
いっぱいでしたね
それにすごくあったかいです

ホカ

ホカ

うう...









違う……違う……

……そうとも言う
かも……しれません……



かわいいい？
それっておしっこじゃなくて
私のことが好きってこと？



おもしろしてる桜さんが……
その……かわいくてつい……



ふふっ

べっ
別にそういう意味では……

私も
うみこさんのこと
好きーっ♡

もしかして
これって両想いって
やつ？ えへへ♡



ドクン
ドクン
ドクン
本っ当……
桜さんって人は……っ!!



はあ……



……

あれ？
どこいくんですか？

私の泊まり用のジャージ
取ってきます
貸してあげますよ

さすがうみこさん！
用意がいろいろ！
ありがとうございます！









プリンを盗むねねっち



アクリルキーホルダー作ろうかなと思って描いたねねっち



銭湯でおしっこをしてしまったねねっち





んじゅっ？
何っておしこれじゃ
よあ〜？

おひこしゆるさまは
パンツ脱がないとらめ
なんしゅよう？

いやいやいや
「こ」は「イ」しじゃ...

じゃなくて不味い!!
もう出始めてる!!
ど...どうしましろう
どうすれば...

く...ッ

あッ
あッ
あッ

口で受け止める
しか...ッ!!



これほど溜め込んで...



す...凄い...



こんなもの...

しゃぶりつかないと飲み干せないじゃないですか!

桜さん
こんなたいっぱい
おしるじき...



まったく...

ふや...ッ

ああああーッ!!

桜さんは本当に世話のやける人ですね...



ペコちゃん

このあと
減茶苦茶
プログラムした



カカカカ

クク

カカカカ

み...
見らな...
ニメカ...
カカカカカカ...

カカカカ

カカカカ

はっ

■ついにトイレに行くことすら許されなくなったわねっ。

■お誘い頂きおかげさうございました!! つっ



カカカカ

カカカカ

カ

カカカカ

あわわわっ

あつ!?
このプリン
うみこさんのだつ

間違えちゃった
どーしよう!!
すっごく
おこられちゃうつ

怒られたく
ないよーっ

らっ

とっ とりあえず
誤魔化さなきゃ...!

おしっこなら
色近いし
これで大丈夫かな...

勿論大丈夫じゃ
ありませんでした。

三三三

三三三

桜ん子

ん

なせーっ



うみこさんの
プリンを食べた
ことに気付く前の
ねねっち



合同誌お招き
いただき、
ありがとうございまちゅ
ねねっち!

ねね

ねねっち合同
いえいえいえ!!!
小林キリ

ゲーム会社『イーグルジャンプ』は今日もゆるやかな空気が漂っていた。

その会社にアルバイトとして入社している桜ねね。

「おいし〜」

気の抜けるような声でねねはプリンを食べていた。頭を使った後の甘いモノは格別だと言わんばかりに。

ぺろりとプリンを完食し、容器をゴミ箱に投げ入れた。その時、何か文字のようなモノが見えた。

何かイヤな予感がする。見なかったことにしたかったが、怖いモノ見たさなのか、直感で見ないといけないのか、それはわからないが、ねねはゴミ箱から、容器を取り出した。

見たくない容器の文字を見るとねねの顔が一気に青ざめていった。

「あつこのプリンうみこさんのだつ」

容器には太目のマジックで『阿波根 うみこ』と書かれてあった。以前も八神コウのプリンを食べてしまったことがあるのだが、今回はうみこで直々の上司のプリンを食べてしまったことより、また怒られてしまうといった恐怖の方がねねには大きかった。

「どーしよう！ すっごく怒られちゃうー！」

あわわわっとねねは焦った。どうすれば怒られないで済むか。だが混乱しているねねに妙案が思いつかない。

またこのまま黙っているとコウのプリン事件の時のようにずっと胸が苦しい思いをしなければいけない。だがねねに正直に食べてしまったことを告げる、という考えは浮かばなかった。

「……」

さつきからねねに尿意がある。

「……」

ねねは考えた。

「……」

これは何か使えるのではないか。

「……そーだつ」

何か妙案を浮かんだのか、ねねは少しにやりとした後、周りをキョロキョロと見渡した。今は終業時間、用のある人間以外は皆、自分の作業に集中している。

「誰もこないよね……？」

誰も歩いていない、誰も喋っていない。

ねねは顔を青から赤に変え、自分の下着を下し始めた。

「うわー……ちよつとドキドキするしすーすーする……」

自分なりの羞恥心の表れなのか、下着は片足だけ外した。毛が生えていないキレイな割れ目が現れる。

「と、とりあえず誤魔化さなきゃ……！」

何を思ったか、ねねは立ち上がり、スカートを捲りあげて、ふうと一息ついた。

「おしっこなら……」

キレイに空になったプリンの空き容器にねねは狙いを定めた。

「んっ」

最初の一滴がなかなか出ない。

「ああつちよ……」

びゅつとおしっこが二、三滴割れ目から垂れる。それは容器には入らず、オフィスの床に染みを作っただけになった。

さすがのねねもたくさんの人がいるオフィスで放尿をすることは抵抗があるようだった。

しかし最初のおしっこが出るとある程度楽になれたのか、このままおしっこを出した。

「おしっこなら色近いしこれで大丈夫かな……？」

一気におしっこをじよぼしよぼと出す。うまく容器に入らず床を汚す。脚を伝うおしっこで自身の身体も汚していく。だがねねはそんなことは気にしなかった。

「ちよつとおしっこしたかったから気持ちいい……」

プリンのごとも、ここがオフィスだということも忘れ、ただおしっこ

をしていることが心地よく感じていた。

おしっこをだいたいぶこぼしながらも、容器に溜まっていく。

「ああっ……ふう……」

ここでねねがあることに気が付いた。

「このままじゃ溢れちゃう……!」

まだおしっこは六割ほど残っている。だが容器にはもう数センチの猶予しか残っていない。ここから導き出される答えは一つ。溢れたおしっこでオフィスに水たまりを作ってしまう。仕事におもらしをした女として重たい十字架を背負い、親友である青葉にも迷惑がかかってしまう。それだけは避けたかった。

「それはダメー!」

ぐつと膀胱に力を入れて、おしっこを止めた。そして素早い動きで下着を穿きスカートを直すと、自分の持ち場をダッシュで離れた。

そしてトイレへと直行した。

「はあ……なんとか間に合った……」

「桜さん……」

ねねが自分のスペースに戻ると、恐ろしいオーラを纏ったうみこが仁王立ちで待ち構えていた。

「ひっ……!」

ねねは脅えて声が上がった。

「桜さんに聞きたいことがあります」

「はい……」

その姿がまるでいたずらがバレてしまった子犬のようだった。元より小柄な身体をもう一回り小さくして。

「プリン。この一言で全て理解できますよね?」

うみこは無表情でねねに圧力をかける。恐怖で口も足もまったく動かない。そんなねねに痺れを切らしたうみこは、

「桜さん!」

雷を落とす。その衝撃でねねの下着が少し濡れる。

「ひいひい!」「ごめんなさい!」

「全くあなたという人は信じられませんね……」

床を掃除するねねにうみこが呆れながらに放った。

「だって……ぷりん……おいしそうだったから……」

ねねは涙目になっている。

「……こんなところでお、おしっこなんて……」

「いやあ、あの、その……」

ねねは思った。

（ああ、クビにされちゃうのかな……あおちに迷惑かけちゃうのかな……?）

「桜さん……」

うみこが抑揚のない声でねねの肩をポンと叩いた。

「は、はい!」

「と、とりあえず、今回は不問にしておきます。今後、自分のスペースでお、おしっこをしたり、人のモノを勝手に食べたりしないこと。いいですね?」

「ふえ?」

意外な答えだった。ねねが予想していたモノとは正反対で、呆気に取られる。

「このプリンは私が責任持って処分しておきますので、掃除が終わる次第仕事に戻ってください。では」

そう言っとうみこはねねのおしっこが入ったプリンの空き容器を持って行ってしまった。

「ええ……」

こうして『イーグルジャンプ 阿波根うみこのプリン事件』は人知れず解決し、何こともなかったように、日常が過ぎていくのであった。



明日から設備点検なので
今日の午後9時以降トイレの
電灯がつかなくなります
…桜さん聞いていましたか？

作:牛鬼



わ!?

お疲れ様です
今帰りますか？



ふう……
今日はこのくらい
で帰りますか



おっ
お疲れ様ですっ!

ど、どうか
しましたか



桜さんも丁度
終わりですか



描いた人: みさな



Gyu!

あーあーあー!!
七光るー!!

あーあーあーあ
あーあーあ

あとがき

こんにちは、夜歌です。

この度はねねっちおしっこ本「ねねっちっこ」を手にとってくださいましてありがとうございます。

ねねっち可愛いですよ、ねねっち！ NEW GAME! で誰が好きかっていう話題になってねねっち！って言うと怪訝な顔をされるの意味分からないです、あんなに可愛いのに。というわけで、ねねっちの可愛さを布教するためにねねっち本を作った次第です。ねねっちは普段から可愛いけど困らせたり泣かせたりするともっと可愛いと思います。なんておもらしと相性のいい子なのでしょう。あとうみこさんとの百合いいですよ、うみねね！うみこさんがどんどんデレていくのが最高です。ねねっち可愛いからしかたないですね。

今回はめずらしくゲスト原稿もお願いしました。みんなにねねっちを描いてもらって完全に俺得です。ありがとうございます！

放送中のアニメ2期も、うみねね最高です！この先もまだまだねねっち活躍すると思うので楽しみですね！ねねっちファンどんどん増えちゃうな～、ふふふ。

ではそろそろこの辺で。ねねっち！

奥付

誌名

「ねねっちょこ」

発行日

2017年8月13日
(コミックマーケット92)

発行者

サークル「朝月堂」
夜歌

WEB ページ

<http://blog.asatsukido.net/>

E-mail

youta0711@yahoo.co.jp

印刷所

ブロス様

ゲスト

御乱ノ栖本佐様

http://blog.livedoor.jp/abyss_gate777/

つつ様

<http://blog.livedoor.jp/tsux3/>

小林おかし様 (きよみん様、小林ゆーり様)

<http://pixiv.me/kobayasiokasi>

牛鬼様

<https://www.pixiv.net/member.php?id=281101>

みさな様

<https://www.pixiv.net/member.php?id=5354>

朝月堂
ASATSUKIDO

